

国語科 7年生 単元名『蜘蛛の糸—人間のエゴイズムを読む—（芥川龍之介）』 授業実践・授業研修	
日時	10月29日(水)5時間目
授業者	西村 尚久
本時のねらい	御釈迦様の行為や発言に着目し、作品が提示する問題について考える。
単元・題材計画	第1次 スパイダー討論の方法を学ぶ。……………1時間 第2次 設定された学習課題に取り組むことで、「蜘蛛の糸」を読み深める。……………3時間(本時3/3) 第3次 作品の主題についてまとめ交流する。……………1時間
授業の実際 (本時の流れ)	(1) 学習課題の設定(御釈迦様に慈悲の心はあるか) (2) スパイダー討論の実施 (3) エキスパート役からの講評 (4) 討論内容の整理 (5) 課題への解答 (6) 振り返り
事後協議の概要	本時の柱は主に2つ設定されていた。1つは、文学作品「蜘蛛の糸」を読み深めるというもの。もう1つは、話し合いの方法を学ぶ(スパイダー討論)というものであった。この2つの柱をカリキュラム上にどのように位置づけるのかを考えておく必要があり、その位置づけによって、授業の評価が変わってくる。読むことの授業として位置づけるのか、話すこと・聞くことの授業として位置づけるのかを明確にしておきたい。

